

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

高田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

地域全体の高齢化率は 24% を超え、地区によっては 30% を超えています。また世帯人口の減少も進んでおり、独居や老老世帯も増加しています。そのため買い物等日常生活に不便を感じている方や、災害時の避難や対応などへの不安を持っている方が多くいらっしゃいます。高田地区では『ひっとプラン』の中で、災害時要援護者支援の取組みの他、地域で活動している団体同士の関係づくり、子育てに関するネットワークづくりに取り組み、ケアプラザも区及び区社協とともに支援チームの一員として関わりました。また個別及び包括レベルの地域ケア会議を実施するなど、地域課題への取組みも行いました。

ケアプラザとしての地域の現状（課題）把握は町会や地区社協、学校及び医療機関・施設等関係機関との情報交換の他、自主事業参加者を対象としたアンケートや利用団体・利用者の声などから行いました。またプラザ内の各部門各職種からも情報を集約し、そこで得られた様々な地域課題について、地域が主体となって解決に向けた取り組みが行なえるよう関係機関・団体等と連絡調整し、必要に応じて自主事業等の企画・実施にもつなげました。職種間連携を重視し、担当のみに業務が偏ることなくプラザ全体として関わり、取り組んでいく体制づくりを心掛けました。

(2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域にとって最も身近な相談機関として、あらゆる世代、また種類の相談に対応した窓口となるよう努めました。各々の職員が情報共有しながら迅速に対応し、必要に応じて関係機関に的確につなぐことを心掛けました。日頃から民生委員はじめ関係各所と連携してケースの発掘（早期の相談対応）につなげる他、各種事業や広報紙でも相談窓口の存在を周知し、気軽に相談していただける雰囲気づくりに心掛けました。

(3) 各事業の連携

会議の場に限らず日頃から地域課題や地域資源、実施する事業について情報共有するよう心掛けました。3 部門 5 職種の連携により、自主事業（あったかだ・喫茶たかた）や地域ケア会議など様々な事業を実施しました。認知症サポーター養成講座は前年に引き続き貸館利用団体の福祉保健活動に位置づけて実施しました。高田研修所を会場にした「高田の丘サロン」の実施や自宅開放型の新たな居場所づくりの検討も連携しながら行いました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

29年度は職員の退職により、年度当初から数か月間にわたり欠員状態が続きました。その間は業務の停滞を最小限に留めるよう、既存の職員が協力して業務を補完しました。育成については職員として最低限必要な人権擁護や個人情報保護等といった内容に関して、会議やミーティング等で随時確認しながら、職員各々の意識を高めました。新入職員には入職時にオリエンテーション及び新任研修を実施し、実務経験を重ねた職員には専門職としてより高度な内容の研修を受講させることでスキルアップを図りました。事業実施にあたってはケアプラザ職員として公正・中立な立場を心掛けました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

「ひっとプラン港北高田地区計画」や「包括レベル地域ケア会議」等を中心に地域関係団体や医療機関、サービス事業者等と連携を図りました。また地区社協が主催する「活動団体懇談会」や子育て関係の施設等で構成される「子育てネットワーク会議」とも連携し、関係づくりや課題の把握、事業の共催等も行いました。地区社協や民児協等の定例会にも出席し、関係強化に努めました。

(6) 区行政との協働

毎月の定例ケア会議や所長会、各職種毎の連絡会において行政と情報共有、意見交換を行いました。地域の多様化、複雑化した問題にもスムーズに対応できるよう、通常よりも広い部署の地区担当者が集まるエリア会議を年に2回実施しました。地域ケア会議や元気づくりステーション等、区域で必須となっている事業の他にも、子育て支援事業や離乳食教室、学習支援や野菜販売等の実施に協力しました。また「ひっとプラン港北」でもサポートスタッフとして区との協働を図りました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域の方々や団体の方々と連携した事業の開催や情報提供・収集に努めました。年代を問わず多くの方にご参加いただける事業を開催しました。障がい支援に関しましては、訓練会・他ケアプラザ・専門施設などと協働にて事業を実施しました。地域包括、生活支援コーディネーターとも協働して、サロンの開設や講座など多くの方に足を運んでいただく機会づくり、ケアプラザを知っていただく機会づくりに努めました。次年度開催の事業立ち上げに向けて、関係機関との連携、ボランティアの募集などの周知活動に努めました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館利用団体に適した福祉保健活動の紹介やケアプラザ事業での福祉保健活動への情報提供など活動の場の提供に努めました。多くの団体が活用できるように、内容においても短時間であったり、限られた時間でも対応できるように、また多くの貸館利用団体に対応できるような福祉保健活動の場が提供できるよう努めました。貸館につきましては、予約状況表を廊下に掲示し、予約の取りやすい環境をつくっています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア募集チラシや紹介などにより活動者数を増やすことができました。活動の場やPRの場を提供し、活性化を図りました。ボランティア懇談会を実施し、意見交換や交流を深めました。子どもの居場所5回連続講座を行い、次年度に向けたシステム構築ができました。地域活動団体懇談会を通じて、団体間でのボランティア活動を実施することができました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

各種団体定例会等に参加させていただき情報の収集、発信に努めました。貸館利用団体に関しては活動状況の把握に努め地域支援へと繋げていきました。また、ケアプラザ広報紙にて、事業の案内や情報提供することによりケアプラザや地域の情報発信に努めました。また、子育て関連施設間での「子育てネットワーク会議」や高田地区社協が主催する「地域活動団体懇談会」とも連携し、課題把握や事業の共催を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

5職種会議や定例の会議等を通して、ケアプラザ全体で事業に取り組んできました。それぞれの職種の視点で意見交換を行い、自主事業内容の改善に努めました。地域課題の一つに、地域ケアプラザ以外での活動場所がないと挙がっていた為、高田研修所で、「たかたの丘サロン」を開始しました。また、事業や活動において、男性の参加が少ないことから、男性を対象にした「男性向けサロン」を開始しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、介護保険事業職員と連携し、会議の場では勿論、日々の業務の中でも、ニーズ把握に取り組みました。港北区内のボランティア活動団体交流会や、高田地区地域活動団体懇談会に参加し、ボランティア活動における情報収集に努めました。

(3) 連携・協議の場

地域の団体の定例会に参加に、地域ニーズの把握に努めました。
地域活動交流コーディネーターや、民生・児童委員、学校コーディネーターなどと協働し、高田地区に子どもの居場所を作るため、全5回の連続講座を開催しました。
高田地区民生委員児童委員協議会や高田地区社会福祉協議会に参加し、地域課題等の情報共有に努めました。
包括レベルの地域ケア会議を開催し、地域課題の共有が出来ました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区内の生活支援コーディネーターや行政・区社協が集まる連絡会に参加しました。
生活支援コーディネーターの研修等に参加し、他地域での取り組みを知り、担当する地区や区と関連づけながら、情報共有に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

今年度も『地域ケア会議』を通じて、町会や医療機関など関係機関との連携を深めることが出来ました。また引き続き公的なサービスでは対応困難な事例も多く、地域交流部門や生活支援体制整備事業部門との連携によるインフォーマルな活動団体とのネットワーク構築の必要性が高まっています。

② 実態把握

昨年と同様に、包括内で個別ケースの情報共有や、行政が行う統計調査を基に地域データとしてまとめ、民生委員や町会関係者の方々に情報提供を行うなど実態把握に努めました。今後、地域ごとにどのようなニーズがあるのか、また生活支援体制整備事業部門と連携し、その分析や内容の検討等を行う必要があると思われれます。

③ 総合相談支援

今年度は医療機関からの相談が増加しています。認知症に関する相談も増えていますが、その他に独居生活の方や生活困窮の相談も増加傾向みられました。民生委員（地域住民）からの相談も増えており、今後専門の支援機関だけでなく、地域の様々な個人や団体とも連携が求められます。更に連携可能なネットワークの輪を広げていくことが課題と思われれます。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・これまで実施してきた『サポートネット』に加え、市民後見人も参加した『サポートネット全体会』にも参加しています。後見人ニーズの必要性に担い手が追いつかない状況ですが、専門職機関との連携や市民後見人の支援を通じて権利擁護に努めました。また、昨年同様に県行政書士会神奈川東支部との協働事業として、個別相談会を実施しました。

・消費者被害の防止・普及啓発の為、地区消費生活推進員の方々と協力し講座を行いました。

② 高齢者虐待への対応

区主催の『高齢者虐待防止連絡会』への参加や、研修を通じた虐待対応のスキルアップを図りました。また、包括内では虐待防止の一助として『介護者のつどい』を開催し、介護負担の軽減と虐待防止に努めました。

③ 認知症

認知症サポーター養成講座を福祉保健活動に位置づける形で、貸館利用団体向けに、合計 11 回講座を開催しました。又、高田中学校 3 年生向けに開催すると同時に、キャラバンメイトのつどいを月 1 回開催し毎回 9~14 名（包括・ケアプラザ職員含む）の参加がありました。その際には、講座開催後の振り返りや今後のサポーター養成講座の開催に向けての意見交換を行ないました。

一方、認知症カフェとして、たかたの丘サロンを開催。今年度は、毎月 1 回。合計 9 回開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員とケアマネジャーとの懇談会を開催しました。在宅での看取りをテーマに在宅医の先生に看取りについての講演を頂き、その後、話し合いを持った。

地域包括支援センターの役割の周知について、ケアプラザの催し物開催時や、広報誌への掲載、自治会会合へ出席した際にお知らせを行ないました。

生活上の健康リスクや要介護リスクのある高齢者の情報が入った際は、できるだけ早期に対応するようにして地域での見守りや必要機関へ繋ぐよう努めました。

認知症が疑われる方に関しては認知症診断医療機関を紹介、または必要により紹介して繋ぐ支援を行ないました。

② 医療・介護の連携推進支援

高齢者支援ネットワーク研修会（区内包括、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、ガンバ港北、区役所の各代表が参加）にて、今年度 3 回実施。各々の研修会にてテーマを設定。各立場から意見交換を行なうことが出来た。

高田地区にあるケアマネ事業所と高田ケアプラザの協力医を呼んで、事例検討会を開催。顔の見える関係作りに努めました。

③ ケアマネジャー支援

高田地区にお住まいの利用者の方を担当するケアマネジャーを対象に、高田地区ケアマネ連絡会として勉強会、交流会を年2回実施しました。内容としては、民生・児童委員との交流会、在宅リハビリテーション事業について、学ぶ機会を作りました。ケアマネジャー間でも交流も図りました。

高齢者支援ネットワーク（区内9包括合同、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、ガンバ港北、区役所）で年3回の研修会を実施しました。各々の会でテーマを設けて、ケアマネジャーが多職種と連携が取れる体制作りを図りました。

区内包括合同で、インフォーマル情報を更新、交付し情報提供を行ないました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別地域ケア会議を年間2回開催しました。1回目は、一人暮らしで精神疾患を患っている方の支援について検討。2回目は本人、家族共に疾患を患い、複数の問題を抱えた一家の支援について検討しました。一方、包括レベル地域ケア会議は、年間1回の開催を行ない、テーマを個別地域ケア会議から抽出した課題として、一人暮らし及び認知症の方に対する支援体制の構築をテーマに話し合いました。又、地域と医療と介護が連携して取り組める環境を構築して行けるように努めました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要介護状態になるのをできる限り予防するため「本人ができることはできる限り本人が行なう」を基本に考え支援を行なっています。介護予防ケアプランを作成する上で、利用者やご家族が制度について理解し、単にサービスを当てはめるのではなく、できるだけ自立した生活が送れるようインフォーマルサービスの利用を活用し支援を行っています。
サービスの利用が目的になっていないか、家族の意向のみ重視されていないか、本人が理解できる表現を使用しているか等に注意を払いました。委託先のケアマネジャーが開催する担当者会議にはできる限り出席し相談支援を行ないました。
- ・地域包括支援センター内の連携
月1回の定期的ミーティングの機会を設けることで、業務の進捗状況の確認と業務内容の共有化を図り、職種間の情報の共有と協力体制を整えました。各職種が専門性を発揮しながらも、チームとして効率的・効果的な業務を行うことができました。
- ・マネジメントする側の職員も研修・講演会等に積極的に参加し、専門職としての意識やスキル向上に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

高齢者が住み慣れた地域で生活が続けられるように、介護予防に関する情報提供や講演会、教室を実施し啓発活動に努めました。

- ・ロコモ予防講座 《H30年1月～3月 全7回》
介護予防体操、口腔ケア、栄養、フットケア、認知症予防講座を行いました。講座終了後、体操サークル、元気づくりステーション2カ所への参加を勧め、継続していただいています。
- ・スリーA（脳活性化ゲーム）支援者養成講座：全3回、フォローアップ講座：1回

参加者でボランティア団体を立ち上げ、元気づくりステーション、デイサービスで活動しています。

- ・ 地区社協 居場所づくり事業“ふらっと高田”へ月1回定期的に出向き、介護予防体操の指導、健康に関する情報提供や相談に対応しました。
- ・ 介護予防活動をしている5グループが集まり運営・活動の情報交換等を行い、交流の機会を持ちました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

開所から18年が過ぎ、内装や設備、備品などに経年による不良箇所が多く見つかったため、修繕や入れ替え等を行いました。日常的に職員が目視での不具合や異音等に注意し、不良箇所の早期発見、早期対応に努めました。設備保守等の業務委託についても、内容を見直し、業務の省力化や効率化を含めた提案を求めた上で再契約しました。また、法人の関連施設と共に契約することでのスケールメリットも活用し、高品質のメンテナンスを安価で行えるよう努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

介護保険事業、指定管理事業ともに利用の向上を図るべく、地域や関係機関を通じて広く施設の活用を働きかけ、安定した収入と、利用者からの高い評価を得られるよう努めました。システム状況を随時見直して業務の迅速さや正確さを向上させるとともに業務が効率的に進むよう努めました。職員一人ひとりが節電節水やリサイクルに積極的に取り組むとともに、業務におけるコスト意識を高く持ち、効率的に運営できるよう心掛けました。消耗品や設備保守料等も公正で安価に調達し、経費節減に努めました。

(3) 苦情受付体制について

各部門に苦情受付担当者と苦情解決責任者を置き、第三者委員は法人にて2名の委員を配置して対応しました。周知は施設内の掲示や配布書類への記載等により行い、苦情の把握は意見箱の設置の他、利用者へのアンケート等の各種調査、利用団体の代表者会議等により行いました。寄せられた苦情等に対しては、随時ミーティングや職員会議等で検討し、早期対応に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

年に2回消防訓練を行い、職員の防災意識を高めるとともに、有事の避難誘導や非常通報、応急処置やAED操作等を冷静に行えるよう努めました。また、特別避難場所である施設の役割を周知し、災害時に的確な対応ができるよう努めるとともに、応急備蓄物資も必要数を整備しました。日常から防犯、防災を心がけ、個人情報を含む機密文書の管理や保管場所の施錠、電気設備等のスイッチの停止などを確実にし、二次的な犯罪、災害の防止に努めました。

(5) 事故防止への取組について

日頃からヒヤリハット事例の記録を蓄積しておき、職員会議等で随時対応について考え、事故を未然に防ぐよう心掛けました。また、職員にリスクマネジメントの考え方を周知、徹底し、万一事故が発生しても適切な対応ができるよう指導し、原因究明、対象者への説明、関係機関への報告等を的確に行い、その後の事故防止に役立つよう努めました。健康福祉局発行の事故発生状況通知も事故防止活動に役立てました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

職員については採用時に秘密保持と個人情報保護に関する誓約書の提出を義務付け、その後もミーティングや職員会議等の場で、随時これらの意識を高く持ち続けるよう指導しました。また、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、同意の下での最小限の使用にとどめ、二次利用することのないよう徹底しました。ケースファイル等文書の保管についても施錠のできるロッカーに管理して担当者が必要時のみ開けるように徹底しました。個人情報漏えい防止については個人情報を取り扱う業務手順を周知徹底し、チェック機能が働く体制づくりを心掛けました。

(7) 情報公開への取組について

施設の広報紙を毎月発行し、ケアプラザ窓口の他、町内会の回覧板や掲示板、店舗等にて配布しました。また法人ホームページからも情報発信しました。施設に寄せられた要望や苦情については利用者会議での周知の他、必要に応じて概要と対応を情報コーナーに掲示しました。その他に自主事業や利用団体の活動時、運営協議会等も活用し、情報公開に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

職員には疾病や障がいに関する偏見や、社会的身分や出身への差別などが起きないように、人権擁護について高い意識を維持するよう指導しました。また各種事業においても積極的・継続的に啓発を行うことを心掛けました。日頃から公正な職務態度や丁寧な接遇、言葉遣いを心掛け、利用者や相談者等に誤解や不快感を与えることがないように努めました。職員間においても各種ハラスメントの防止に努め、良好な職場環境の維持に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

館内で発生するゴミの減量化に努力し、出たものについては確実に分別し、リサイクルできるものは資源として再利用にまわす等の取り組みを行いました。日頃から節電や節水、車両のアイドリングストップ、適切な空調管理に努め、省資源、省エネルギーに心掛けました。地球温暖化防止や空気清浄等に効果があるとされる緑化の推進については、地域ボランティアの協力を得ながら、主にプランターの植栽にて対応しました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

介護予防支援業務は看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士3名体制で業務にあたりました。看護師を中心にしながらも3職種が連携、共同で取り組みました。

《目標に対する成果等》

- ・要介護状態になるのをできる限り予防するため「本人ができることはできる限り本人が行なう」を基本に考え支援を行なっています。介護予防ケアプランを作成する上で、利用者やご家族が制度について理解し、単にサービスを当てはめるのではなく、できるだけ自立した生活が送れるようインフォーマルサービスの利用を活用し支援を行っています。
サービスの利用が目的になっていないか、家族の意向のみ重視されていないか、本人が理解できる表現を使用しているか等に注意を払いました。委託先のケアマネジャーが開催する担当者会議には出来る限り出席し相談支援を行ないました。
- ・地域包括支援センター内の連携
月1回の定期的ミーティングの機会を設けることで、業務の進捗状況の確認と業務内容の共有化を図り、職種間の情報の共有と協力体制を整えました。各職種が専門性を発揮しながらも、チームとして効率的・効果的な業務を行うことができました。
- ・給付業務に関しては、委託先居宅介護支援事業所・サービス事業所とは紙面にて実績、状況を確認し、複数職員で給付管理データの作成・確認作業を行いました。
- ・研修体制
健康福祉局や区等が主催する研修・講演会等に積極的に参加しました。研修後は、内容を共有化することで地域包括支援センター全体のスキルの向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 交通費…担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターを含む5職種間で情報共有を図り、協働して行う事業を通じて地域の特性を把握し活かせるよう連携を図ることができました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
161	166	161	167	166	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
163	162	162	156	157	156

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤専従 管理者 1名 介護支援専門員 2名

《目標に対する成果等》

● 連携を図り、サービスの質向上

・ 事業所内での連携

個々の介護支援専門員の利用者の大きな状態変化を担当職員以外でも対応できるように、職員間で月3～4回定期的に報告連絡を行い、利用者の緊急時の要望に担当職員以外でも対応できるようしました。

・ 他職種、他事業所との連携

必要に応じて各サービス事業所の担当者との連携を密にし、利用者への支援内容の確認・ケアの統一を行い、最も適切なサービスが提供できるよう努めました。

● 専門分野の知識の向上

・ 研修には積極的に参加し、介護支援専門員としての専門性を高め、また、知識の向上のみでなく、他事業所のケアマネジャー等との情報交換の場としました。

・ 研修会での内容や最新情報等は事業所内で共有しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 交通費・通所のサービス実施地域を超える地域に訪問し、出張する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

● 地域包括支援センター併設事業所という性格を生かし、密に連携を取りながら、緊急、困難ケース等について迅速に対応しました。

● 地域ケアプラザ内の地域交流部門より、地域のインフォーマルサービス（ボランティア活動等）についての情報を取得し、また、地域交流部門にも協力してもらいながら地域の社会資源を有効活用しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
66	65	62	64	64	64
10月	11月	12月	1月	2月	3月
65	66	67	65	60	62

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 介護に係る相談援助
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や食事、排泄の介助）
- 健康状態の確認
- 送迎
- 食事
- 入浴
- 口腔ケア
- 集団でのレクリエーション、創作活動等の機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	704円	（要介護2）	831円
（要介護3）	963円	（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円		

- サービス提供体制強化加算（I）イ 20円
- 入浴加算 54円
- 口腔機能向上加算 161円
- 介護職員処遇改善加算（I） 所定単位数の5.9%
- 食費負担 700円
- 口腔ケア用歯ブラシ（1本） 399円～450円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

- 生活相談員 常勤2名
- 介護職員 常勤2名 非常勤12名
- 看護師 非常勤2名

《目標（取組、達成状況）》

- 利用者のADLに応じた自立支援型のプログラムを実施しました。
- 利用者が楽しく利用していただくことを念頭に置き、季節に即した行事レクを企画・実行しました。また、麻雀、将棋、絵手紙などの専門的なボランティアに活動していただき、利用者の個別のニーズに対応しました。
- 利用者の臨時利用や送迎時間の変更など、利用者の家族のニーズにも柔軟に対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 月毎の行事レクリエーションの実施。
（5月：演芸大会 7月：納涼会 9月：運動会 10月：外食レク
12月：クリスマス 1月：初詣 2月：小学生と豆まき 3月：お花見）

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
586	641	646	662	685	659
10月	11月	12月	1月	2月	3月
646	637	593	535	524	632

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- サービス計画の作成
- 介護に係る相談援助及び助言
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助）
- 健康状態の確認
- 送迎
- 入浴
- 食事
- 口腔ケア
- 集団のレクリエーション、創作活動等の機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者又は要支援1・2で週1回程度利用の場合） 1,766円
 - （事業対象者又は要支援2で週2回程度利用の場合） 3,621円
- サービス提供体制強化加算（I）イ
 - （事業対象者又は要支援1・2で週1回程度利用の場合） 78円
 - （事業対象者又は要支援2で週2回程度利用の場合） 155円
- 介護職員処遇改善加算（I） 所定単位数の5.9%
- 食費負担 700円
- 口腔ケア用歯ブラシ（1本） 399円～450円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

- 生活相談員 常勤2名
- 介護職員 常勤2名 非常勤12名
- 看護師 非常勤5名

《目標（取組、達成状況）》

- 利用者のケアプランに基づき、自立支援を念頭においたプログラムを実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 月毎の行事レクリエーションの実施。
 （5月：演芸大会 7月：納涼会 9月：運動会 10月：外食レクリエーション
 12月：クリスマス会 1月：初詣 2月：地域の小学生と豆まき 3月：お花見）

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
14	16	16	15	14	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	18	17	17	18

平成29年度「横浜市高田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,884,348	355,153	14,529,195	14,529,195	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	36,920	36,920	自主事業収入
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	49,614	49,614	
印刷代	0		0	35,480	35,480	コピー代
自動販売機手数料	0		0	13,344	13,344	自販機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	790	790	公衆電話使用料
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	148,208		148,208	148,208	0	
収入合計	18,620,056	355,153	18,264,903	18,351,437	86,534	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,073,200	0	10,073,200	9,445,611	627,589	
本俸	6,435,286		6,435,286	6,028,330	406,956	基本給
社会保険料	739,812		739,812	685,578	54,234	健康保険、雇用保険、厚生年金等
手当計	2,781,126		2,781,126	2,680,700	100,426	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	27,620		27,620	20,925	6,695	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	83,116		83,116	5,588	77,528	共済掛金
退職給付引当金繰入額	0		0	17,490	17,490	退職給付引当金
その他	6,240		6,240	7,000	760	インフルエンザ予防接種料
事務費	975,000	0	975,000	1,847,650	872,650	
旅費	8,662		8,662	17,409	8,747	会議等交通費
消耗品費	247,534		247,534	459,896	212,362	玄関マット、洗剤、消臭剤、ペーパータオル等
会議賄い費	1,000		1,000	520	480	飲料
印刷製本費	11,500		11,500	11,340	160	名刺、封筒
通信費	110,081		110,081	170,731	60,650	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	9,600	0	9,600	9,600	0	
横浜市への支払分	9,600		9,600	9,600	0	自動販売機目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	53,495		53,495	940,801	887,306	プレイマツ、調理道具、食器、蛍光灯、清掃用品等
図書購入費	3,000		3,000	0	3,000	書籍
施設賠償責任保険	96,193		96,193	0	96,193	施設賠償責任保険料
職員等研修費	10,000		10,000	10,896	896	研修参加費
振込手数料	1,000		1,000	512	488	振込手数料
リース料	318,440		318,440	0	318,440	
手数料	2,000		2,000	0	2,000	
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
その他	92,495		92,495	225,945	133,450	コピー用紙、訪問時駐車料等
事業費	292,000	0	292,000	206,779	85,221	
運営協議会経費	42,000		42,000	14,464	27,536	予算：指定額
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	192,315	57,685	自主事業経費
管理費	6,474,000	0	6,474,000	6,231,395	242,605	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	3,251,140	0	3,251,140	3,572,057	320,917	光熱水費
電気料金	1,024,110		1,024,110	1,160,919	136,809	
ガス料金	780,273		780,273	889,442	109,169	
水道料金	1,446,757		1,446,757	1,521,696	74,939	
清掃費	1,344,985		1,344,985	1,344,985	0	日常清掃費
修繕費	474,000	0	474,000	118,847	355,153	予算：指定額
機械警備費	133,878		133,878	133,878	0	機械警備費
設備保全費	1,269,997	0	1,269,997	967,569	302,428	
空調衛生設備保守	293,365		293,365	292,410	955	空調設備保守料
消防設備保守	47,780		47,780	47,780	0	消防設備保守料
電気設備保守	37,269		37,269	37,269	0	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	40,613		40,613	40,613	0	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	850,970		850,970	549,497	301,473	自動ドア、昇降機、ボイラー保守料
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	94,059	94,059	ルート回収費
公租公課	805,856	0	805,856	755,648	50,208	
事業所税			0		0	
消費税	805,856		805,856	755,648	50,208	消費税
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,620,056	0	18,620,056	18,487,083	132,973	
差引	0	355,153	355,153	135,646	219,507	

自主事業費収入	250,000		250,000	0	250,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	250,000		250,000	192,315	57,685	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	192,315	192,315	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	13,344	13,344	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	3,744	3,744	

平成29年度「横浜市高田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,386,000	1,891,182	21,494,818	21,494,818	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	2,357,041	3,431,959	3,431,959	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	24,000	24,000	自主事業収入
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	12,400	12,400	自主事業収入
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	13,344	13,344	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	13,344	13,344	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	199,000		199,000	199,000	0	
収入合計	29,525,000	4,248,223	25,276,777	25,326,521	49,744	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,514,000	0	25,514,000	20,282,955	5,231,045	
本俸	10,777,014		10,777,014	8,939,250	1,837,764	基本給
社会保険料	3,307,203		3,307,203	2,675,938	631,265	健康保険、雇用保険、厚生年金等
手当計	11,055,021		11,055,021	8,426,056	2,628,965	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	29,295		29,295	22,599	6,696	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	306,520		306,520	16,762	289,758	共済掛金
退職給付引当金繰入額	0		0	198,750	198,750	退職給付引当金
その他	38,947		38,947	3,600	35,347	インフルエンザ予防接種料
事務費	965,000	0	965,000	1,185,833	220,833	
旅費	12,312		12,312	26,515	14,203	会議等交通費
消耗品費	60,890		60,890	154,691	93,801	玄関マット、ペーパータオル等
会議備い費	0		0	0	0	
印刷製本費	15,000		15,000	11,340	3,660	名刺、封筒
通信費	111,636		111,636	144,998	33,362	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	9,600	自動販売機目的外使用料
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	23,556		23,556	645,043	621,487	事務用イス、蛍光灯等
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	書籍代
施設賠償責任保険	20,181		20,181	0	20,181	施設賠償責任保険料
職員等研修費	10,000		10,000	58,045	48,045	研修参加費
振込手数料	1,000		1,000	80	920	振込手数料
リース料	656,650		656,650	0	656,650	
手数料	1,000		1,000	0	1,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	47,775		47,775	135,521	87,746	広告掲載料、訪問時駐車料等
事業費	1,170,000	0	1,170,000	596,432	573,568	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	80,000		80,000	62,851	17,149	自主事業経費
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,160	160	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	130,421	178,579	予算:指定額
管理費	1,876,000	0	1,876,000	1,656,437	219,563	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	864,225	0	864,225	949,533	85,308	光熱水費
電気料金	272,231		272,231	308,598	36,367	
ガス料金	207,414		207,414	236,434	29,020	
水道料金	384,580		384,580	404,501	19,921	
清掃費	357,527		357,527	357,527	0	日常清掃費
修繕費	126,000		126,000	31,592	94,408	予算:指定額
機械警備費	35,587		35,587	35,587	0	機械警備費
設備保全費	492,661	0	492,661	257,195	235,466	
空調衛生設備保守	77,983		77,983	77,728	255	空調設備保守料
消防設備保守	12,700		12,700	12,700	0	消防設備保守料
電気設備保守	9,906		9,906	9,906	0	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	10,795		10,795	10,795	0	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	381,277		381,277	146,066	235,211	自動ドア、昇降機、ボイラー保守料
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	25,003	25,003	ルート回収費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,525,000	0	29,525,000	23,721,657	5,803,343	
差引	0	4,248,223	4,248,223	1,604,864	5,853,087	

自主事業費収入	540,000		540,000	36,400	503,600	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	540,000		540,000	344,432	195,568	自主事業経費
自主事業収支	0		0	308,032	308,032	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			13,344		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			3,744		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市高田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	3686	9611	73683
その他		6045	126	5167	858
介護予防ケアマネジメント 費		6045			
事業・負担金収入					
食費等				5167	858
認定調査料			126		
その他					
収入合計(A)		9731	9737	78850	6336
支出	人件費		8062		58144
	事務費		1645		12853
	事業費		891		12802
	管理費				
	その他	6297	155		959
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	6297			
	その他		155		959
	支出合計(B)	6297	10753		84758
収支 (A) - (B)		3434	-1016		428

※ 「介護予防支援」について、包括支援センター職員が兼務のため、人件費等の経費は包括に計上。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性向けサロン	<p>【対象者】 地域一般（男性）</p> <p>【目的】 自宅にこもりがち、仲間作りをしたい、運動器具を使用し体を動かしたい男性向けの居場所づくり</p> <p>【実施内容等】 運動指導員のもと、マシントレーニング等を行う。</p>	毎月第3土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たかたの丘サロン	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 ケアプラザまで足を運ぶことが困難な方等への居場所づくり</p> <p>【実施内容等】 茶話会が中心。会の終わりには歌を歌う。 在宅支援サービス等など各種相談に対応できるよう、包括支援センターも参加。</p>	毎月第1金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶たかた	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 認知症の方やその家族、また地域のどなたでも参加できるカフェを目指す。絵手紙コーナーも常設し、参加者の出入りは自由とする。</p> <p>【実施内容等】 挽き立てのコーヒー豆を使用し、1杯ずつ提供。年3回ほど講座やイベントを行う。</p>	毎月第4水曜日 (8月・12月は除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらくウォーキング	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 ウォーキングを始めるきっかけとなることを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 高田地区保健活動推進員との共催事業。港北ガイドボランティアガイドの方々にも参加していただく。</p>	4/21・5/19・ 6/16・7/21・ 9/15・10/9・ 11/17・12/15・ 1/6・3/16

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たかたべり〜ず	<p>【対象者】 個別支援級在籍児</p> <p>【目的】 区内の地域活動ホームの協力のもと、障がいのある子どもたちが身近な地域の人々と交流したり、有意義な余暇を過ごす機会を身近な場所で提供することで障がい児の社会参加の促進と家族の負担軽減が主な目的。</p> <p>【実施内容等】 高田地区社会福祉協議会共催の学齢障がい児余暇支援事業。個別支援級在籍小学生を対象に実施。</p>	10/14・3/18 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックガーデン	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 音楽を通じて、地域の方との交流を深める</p> <p>【実施内容等】 地域にお住まいの方より、ご自身のコレクションであるレコードを活用しサロンを開催。</p>	7/15・10/7・ 12/9・3/31 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定会	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 健康づくりのきっかけや継続していく励みとなるよう、地区における健康測定会を開催。</p> <p>【実施内容等】 保健活動推進員共催事業。各測定器を用意し個々の健康管理を促す。保健活動推進員が主体となり事前準備から当日の進行を行い、プラザがサポートをする。</p>	9/9 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高田Fes! 2017	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 ケアプラザを地域の人に知って頂くことと、活動団体の日頃の成果を披露する場を設ける目的で始まった「文化祭」を学校を含めた地域のコンサートと統合し地域の方に楽しんでいただく。</p> <p>【実施内容等】 学校・地域・地域連携事業との共催事業。各学校音楽部、ケアプラザ活動団体の地域に向けての発表の場。</p>	11/25 (1回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 中学校が高台にあり高齢者には行きにくいことや、日頃中学生との関わりが薄い方々にも地域学校の活動を知っていただく機会として開催。</p> <p>【実施内容等】 高田中学校吹奏楽部による地域向けコンサート</p>	12/16 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たかた寄席	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域で活動している団体（慶應義塾大学落語研究会）に依頼し落語を披露していただく。普段遠出ができない方にも地域で寄席の雰囲気味わってもらおう。地域学校の活動を知る機会として開催。</p> <p>【実施内容等】 慶應義塾大学落語研究会による寄席。</p>	2/17 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら会自動車ぽっぽ共同事業	<p>【対象者】 障がい児</p> <p>【目的】 メンバー減少傾向にあるあおぞら会自動車ぽっぽへの支援を行い、立て直しに協力していく。自主レクレーションへの協力と共催事業実施を通してメンバーの障がいしえんのスキルアップへ繋げる。</p> <p>【実施内容等】 障がい者地域訓練会との共催。</p>	6/18・9/10・1/7・3/24 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる	<p>【対象者】 区内在住の障がい児</p> <p>【目的】 対象学年を設定したニーズに合った内容で実施。</p> <p>【実施内容等】 新吉田、高田、下田、樽町、日吉本町、新羽6館共催事業。</p>	9/16・12/10・2/11 (3回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあい広場 「手打ちそば」	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域の方が気軽に集まれる場所、世代を問わず異世代の交流ができ、外出機会や交流機会のきっかけとなることを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ利用活動団体にそば打ちをしていただき、地域の方へ提供をする。</p>	12/2 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地場野菜試食会	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地場野菜を使ったレシピを（特に）子育て世代へ伝える。同時に地産地消のPRも行う。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ駐車場を利用して、地場野菜をレシピの紹介をする。</p>	6/23・6/30・7/7・ 11/24・12/1・12/8 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
館内大掃除	<p>【対象者】 貸館利用団体</p> <p>【目的】 貸館利用団体の福祉保健活動の一環としてケアプラザ貸館部分の大掃除を行う。清掃終了後、交流会を実施し団体間の関係作りに繋げる。</p> <p>【実施内容等】 貸館利用団体によるケアプラザ貸館部分の大掃除。清掃終了後、交流会を実施。</p>	12/12 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用者会議	<p>【対象者】 貸館利用団体</p> <p>【目的】 貸館利用団体からの要望や質問・意見等を確認し、またプラザからも利用規定等の変更内容を伝え、各団体が快適に利用していただくことを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 事前アンケートについての結果報告、今年度のケアプラザについて、質疑応答など</p>	5/20 (1回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声ラララ	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域の音楽が好きな人達の交流、親睦を深めコーラスを楽しむ</p> <p>【実施内容等】 季節に合った歌をみんなで歌う</p>	4/24・7/24・ 10/23・1/22 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高田地区介護者の集い	<p>【対象者】 介護している方</p> <p>【目的】 介護者支援（介護者の介護負担軽減や介護者同士の仲間づくり）</p> <p>【実施内容等】 介護者同士の情報交換また、包括職員・区職員も参加し福祉保健に関する情報提供を行う 3月：施設見学</p>	年：11回（毎月第2木曜日・8月休）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏祭り	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域ケアプラザ利用機会の少ない、30～40代の方（小学校保護者層）へのケアプラザPRや地域の方との交流の場を持つ。また、単純にお祭りを楽しめれば十分と考える。</p> <p>【実施内容等】 慶應大学落語研究会に協力して頂き怪談噺と模擬店を実施</p>	7/22 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほく なつとも	<p>【対象者】 区内在住または在学の小1から中3までで障がいのある方</p> <p>【目的】 様々な年代の友達や大人の方と交流の機会を持つ</p> <p>【実施内容等】 7/31,8/1は、館内でレクレーション。8/7はカップヌードルミュージアム。8/8は中華街への外出を実施。</p>	7/31・8/1・8/7・ 8/8 (4回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
星空列車	<p>【対象者】障がい児訓練会のOB、OG 他</p> <p>【目的】卒業生の交流の場の提供</p> <p>【実施内容等】外出、食事会、レクレーション、調理を実施</p>	9/24・11/5・ 1/13・3/11 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
未来に希望を持てる地域づくり	<p>【対象者】地域一般</p> <p>【目的】子ども達が安心して暮らせる地域づくりを目指し、民生委員が担い手ではなくアドバイザー的な役割を持ち、あくまで住民主体とした事業を目指しそのための講座を5回連続講座で行う。</p> <p>【実施内容等】様々な講師を招いた講演、グループワーク、見学を実施。</p>	1/27・2/10・ 2/17・2/18・3/10 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったかだ	<p>【対象者】障害者及びその家族</p> <p>【目的】精神保健サロン形式にて悩みや相談、コミュニケーションを図る。</p> <p>【実施内容等】講演会を開催しての情報の共有や音楽会やサロンによるコミュニケーションの機会を提供する。</p>	4/4, 5/2, 6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7 12/5, 1/4, 2/6, 3/6 (年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
個別地域ケア会議	<p>【対象者】本人、家族、地域住民、医療、介護、行政機関、地域ケアプラザ</p> <p>【目的】地域課題の抽出とその解決</p> <p>【実施内容等】会議形式に各部門の意見や協力を取り付け、地域課題に対処していく。</p>	7/10, 2/1(年2回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
民生ケアマネ懇談会	<p>【対象者】 民生・児童委員、ケアマネ、地域ケアプラザ</p> <p>【目的】 地域と福祉のネットワーク構築、チーム力向上</p> <p>【実施内容等】 地域と福祉の関係作りを図る為、研修を通じての情報共有及び懇談会を通じての関係強化を図る。</p>	10/4(年1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主任ケアマネスキルアップ研修	<p>【対象者】 港北区内の在宅の主任ケアマネジャー</p> <p>【目的】 主任ケアマネジャー同士の連携及びスキルアップ</p> <p>【実施内容等】 研修会を通じての主任ケアマネとしてのスキルアップと懇談会を通じての連携強化を図る。</p>	7/20, 11/14(年2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
個別相談会	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 後見や遺言・相続などに関する個別相談会を区内包括や社協などを会場に、巡回型で実施することで制度の周知や利用支援に繋げる。</p> <p>【実施内容等】 定員10名とし、事前申し込み制にて募る。個別にブースをつくり相談対応を行っていく。</p>	3/3 (年1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
個別地域ケア会議	地域・専門職	289	地活	289	0	0	0	0	289
	37名		包括						
	0円		介護						
			生活						
民生ケアマネ懇談会	民生委員・ケアマネジャー	2808	地活	2808	0	0	0	2808	0
	42名		包括						
	0円		介護						
			生活						
主任ケアマネ スキルアップ研修	主任ケアマネジャー	2000	地活	2000	0	0	0	0	2000
	73名		包括						
	0円		介護						
			生活						
個別相談会	地域一般	903	地活	903	0	0	0	0	903
	22名		包括						
	0円		介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						